

国際交流員ウリリーケ・シュラックの
今月のウリ場



「日本はうるさい」・・・と私は最近感じました。

外国人は、日本はとても静かな国だと思っています。まだ日本に行ったことがない時、私も同じように思っていました。しかしこれは間違いだと最近意識させられました。日本に住んでいて、いろんなことに慣れると、気づかなくなります。

この間、連休の時、東北へ行ってきました。自然の中をたくさん歩いて、綺麗な空気をいっぱい吸ってきました。しかし、自然だからこそ人工的な音はいらないと思います。例えば、岩手県の龍泉洞に行きました。この独特な場所では、独特な音がたくさん聞こえます～石筍から水玉が落ちる音、コウモリが飛びながら出す小さい響き、地下川の流れなど～珍しくて素晴らしい音が自然のまま聞こえるチャンスなのに、スピーカーから案内がひずんで飛んできて、びっくりしました。洞ですからもちろん、音が響き渡って分からなくなるぐらいひずんでいて、恐ろしかったです。案内を聞きたい観光客にだけイヤフォンをつけてもらい、看板を読んでもらう、その方が自然を感じられると思います。



例をもう1つあげましょう。岩手県といえば浄土ヶ浜ですよね。もちろん行きました。ウミネコにえさをあげることが人気で、観光ボートの乗り場がありました。そこでも、スピーカーからの「生ビールもごぞいますよー！」などの知らせはしなかったです。やっぱり、考えてみると日本には公園、庭園、又は図書館だととても静かだけれど、それ以外の場所では、スピーカーからの知らせがありすぎて、うるさいという気がします。「元気なことだと今回教えてくれましたが、元気すぎだと思います。スーパーでもそうです。とても元気なところは、スクリーンまで置いてあって、あちこちでの商品宣伝が重なっていて、それこそ買いたくなくなります。レジまで進んでいくと、レジの店員さんがかごの中にあるものを全てレジディスプレイ通りに読み聞かせてくれます。日本語が分からない外国人はかなり驚きます。「何言っているの?」と聞いてくる外国人が多いです。私が「物の値段」と答えると、「どうしてですか?」と逆に聞かれ、答えられません。しかも、ごもごもとしゃべっていて分からない時も多いです。

電車、バスなどの交通機関を使う時にも、知らせが多いと思います。電車の中の「忘れ物ないように」や「携帯電話をマナーモードに設定の上・・・」など、またエスカレーターに乗る時の「足元にご注意ください!」という案内は、日本人は国民に対してそこまでやらなくてはならないのかな?と疑問に思ってしまう。



国際交流員ウリさんの**びっくり箱**

第9回

クリスマス間近の定番イベント

～ドイツのクリスマス・おたのしみカレンダーをつくろう!～

「クリスマスまであと何日...?」

ドイツのアドヴェンツカレンダーは普通のカレンダーではありません。きっと12月を楽しく過ごすことができますよ。

- 日 時 11月29日(土) 午前9時30分～正午
- 場 所 石橋図書館2階研修室
- 参 加 費 1人500円
- 定 員 30名(小学2年生以上)
- 募集期間 11月17日(月)～11月28日(金)
- 申 込 み 生活課 ☎40-5555
- メールでも申し込み可能: 50002@city.shimotsuke.lg.jp



昨年の様子